

競 技 注 意 事 項

本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

1 練習について

練習は、主競技場、補助競技場及び雨天練習場を原則とする。投てき競技（円盤投・ハンマー投・やり投）の練習については、多目的広場を使用する。砲丸投の練習は、補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみで行う。使用の際は係員の指示によって行う。

① 主競技場の使用について

競技開始30分前までの使用とする。運営準備と並行して行うので、係員の指示に従うこと。

② 補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・1～2レーンは、周回練習のみ使用可とする。ただし、1レーンはトライアル、2レーンはジョグ練習とする。（集団ジョグは不可。）
- ・3～4レーンは、短距離、リレー練習を優先する。
- ・5～6レーンは、400mHを優先する（大会2日目まで）。
- ・ブロックを使用してのスタート練習は、多目的広場側直走路4～7レーンとする。
- ・多目的広場側直走路9レーンは、女子100mH、11レーンは、男子110mHとする。
- ・テント等を設営しての独占的な使用をしない。
- ・メディシンボールやミニハードル等、競技場備え付けの用具以外は使用禁止とする。

③ 雨天練習場の使用について

- ・ピストルの使用は禁止する。
- ・入場は、第2ゲート側の入口から入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止とする。
- ・シート等を敷いて独占的な使用は絶対にしない。
- ・ウォーキング、ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動き作り程度の練習は行ってもよい。それ以外は補助競技場で行うこと。
- ・ウォーキング、ジョギング等は左回りとし、逆走はしない。
- ・ハードル、スターティングブロックは使用できない。

④ 多目的広場の使用について

- ・投てき練習を行う際は、指導者等が付き添い、安全管理に努めること。
- ・競技終了後の投てき練習は認めない。

2 競技用シューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下、走高跳・やり投は12mm以下とする。また、スパイクの本数は原則として11本以内とする。

3 アスリートビブスについて

アスリートビブスは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技に出場する選手はどちらか一方でもよい。

トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横やや後方につけること。

3000m以上の種目と4×400mRの第2、第3走者は、別ナンバーカードを使用する。別ナンバーカードについては、招集所にて配布する。

4 選手招集について

①選手招集場所は第2ゲート（1500mスタート付近）とする。

②選手招集時間は下記のとおりとする。

トラック競技（予選）		トラック競技（準決・決勝）		フィールド競技（決勝）	
開始	完了	開始	完了	開始	完了
競技開始30分前	20分前	25分前	15分前	50分前	40分前

※棒高跳は、60分前に現地で練習、招集完了とする。

ただし、下記の種目については、表記の通り別途設ける。

男子走幅跳(決勝)・男子三段跳(決勝)・女子走幅跳(決勝)	
開始	完了
競技開始60分前	50分前

また、下記の種目の予選については**招集完了時間**を段階的に行うので注意すること。

100m・200m		400m・800m・400mH		1500m	
1～5組	20分前	1～4組	20分前	1～2組	20分前
6～10組	10分前	5～8組	10分前	3～4組	10分前
11組～	競技開始時刻	9組～	競技開始時刻	5組	競技開始時刻

5000m (決勝)		4×400mR	
1組	20分前	1～2組	20分前
2組	10分前	3～4組	10分前

- ③リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに提出すること。なお、決勝においてもオーダーの変更の有無に関わらず、予選に準じて提出すること。
- ⑤ 混成競技における招集は、第1日目、2日目とも第1種目の該当時刻に招集所で実施する。第2種目以降は該当種目の招集完了時刻に合わせて現地で最終コールを実施する。(ただし、混成競技のフィールド種目については30分前召集完了とする。)
- ⑤ 2種目同時に出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出ること。

5 競技について

- ①競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ②トラック競技のスタート合図はイングリッシュコマンドで実施する。(「On your marks」、「Set」)
- ③トラック競技の次ラウンド進出は着順優先とし、各組上位者のみとする。
 プラス進出者の決定で、最下位で同記録者が出た場合は、細部(電気計時0.001秒)まで読み取り着差判定をする。それでも判定できないときは、ハードルを含む800mまでは、レーンに余裕がある限り次のラウンドへ進むことができる。レーンが不足する場合は抽選して決定する。1500m以上の同記録者は次のラウンドに進出できる。
- ④4×100mリレーの第2・第3・第4走者は、主催者が用意したマーカー(1個)を使用することができる。マーカーは、出発係が現地で渡し、そのマーカー以外は使用してはならない。使用したマーカーはそのチームで処理する。
- ⑤4×400mリレーの第3・第4走者の待機順は、200mスタート地点を通過した順序とし、それ以後いかに順序が入れ替わろうとも変えることはできない。
- ⑥各レースの不正スタートは1回目から全て失格とする。(ただし、混成競技は別規則)
- ⑦競歩の制限時間は、最後の1周に入った時点で下記の時間を超えないこと。越えた場合は競技を打ち切る。
 男子5000mW 30分 女子5000mW 35分
- ⑧競技者が、競技場内へ携帯電話等の通信機器やビデオ・デジカメ等の撮影装置を持ち込むことは禁止とする。
- ⑨助力については、競技場内での助力は禁止とするが、スタンドからの助言については、競技運営並びに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。ただし、文書をもって連絡することや当該競技場所を勝手に離れることはできない。当該競技の審判員にその旨を伝えてから移動すること。
- ⑩規則 TR5.13の規定外シューズ(トラック競技での厚底シューズ使用)については陸協HPの記載通りであるが、「フィールド競技用シューズTR5.5」については、本大会では適用除外とする。

6 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。ただし、棒高跳用ポール・やりは検定において合格したものに限り使用が認められる。個人所有のポールの検査は最終点呼時に跳躍審判が行い、やりの検査は競技開始60分前に第1ゲート(ゴール付近)横の倉庫前で行う。
- ②練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいない。

7 跳躍競技について

- ①走高跳・棒高跳のバーの上げ方(ただし、天候等により変更あり)

		練習							以降
走高跳	男子	150	155	160	165	170	175	178	3cm刻み
	男混	135	140	145	150	153	156	159	3cm刻み

	女子	125	130	135	140	145	148	151	3 cm刻み
	女混	115	120	123	126	129	132	135	3 cm刻み
棒高跳	男子	280	290	310	330	350	370	390	1 0 cm刻み
	女子	190	200	220	240	260	270	280	1 0 cm刻み

②三段跳の踏切板の位置は、男子1 1 m 0 0、女子9 m 0 0に設置する。

③男女の走幅跳については、男子5 m 0 0、女子3 m 5 0に計測ラインを設け、2ピットで実施する。

8 投てき競技について

本大会では、以下の通り計測ラインを設ける。(それ以下の試技については計測しない)

種 目	男子	女子
ハンマー投	2 0 m	1 5 m
円盤投	2 0 m	1 8 m
やり投	3 0 m	2 0 m
砲丸投	8 m	6 m

9 表彰について

①個人表彰は、第1位から第3位に賞状を授与する。3位までの入賞者は、決勝終了20分後をめぐり、メインスタンド下、中央入口内の賞状置き場から、賞状を持ち帰ること。表彰は行わない。

②学校対抗の表彰は、男女とも総合、トラック、フィールドの第1位から第3位までとし、大型映像で発表する。(閉会式は実施しない)

③得点は、1位-8点、2-7、3-6、4-5、5-4、6-3、7-2、8-1点とする。
ただし、混成競技の得点は、『総合』のみに加える。

10 その他

①やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。

②救急・救護について、応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、メインスタンド下中央付近の医務室に連絡すること。

③記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示する。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行わない。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認することができる。

《 連 絡 事 項 》

1 四国新人大会(徳島)への参加資格について

①混成競技を除くすべての種目における上位4位までの入賞者に参加資格を与える。ただし、男女走高跳・棒高跳については4位4名とする。リレー種目についても上位4チームとする。

②四国新人大会においては、混成競技は実施しない。

④四国新人大会出場種目数は、リレーを除き、1人2種目までとする。

⑤四国新人大会の出場辞退者は、決勝終了後ただちに総務【井上】までその旨を申し出ること。四国新人大会参加資格を得た者が辞退した場合は、次の上位者より、参加資格を与えるものとする。

2 四国新人大会への出場権を獲得した学校は、総務【井上】より申込書類を受け取り、下記申込先に必要書類を提出して下さい。

なお、参加料および必要経費については、下記の口座に振り込んで下さい。

(どちらも必ず期日までに必着・振込を完了すること)

【申込データ提出日】 9月20日(火) 19:00(送信アドレス) ohji140@yahoo.co.jp

【必要書類提出期日】 9月22日(木) 必着 … 通送便は使わず、郵送でお願いします。

[申込先] 〒790-0826 松山市文京町4-1
松山北高等学校内 石丸 皇士 あて

【参加料・必要経費振込期日】 9月28日(水)

[振込先口座] 〈銀行名〉 伊予銀行 本町支店
《口座番号》 普通 3663073
〈名 義〉 県高体連陸上専門部 代表 石丸 皇士(ただし)